

議長（明和善一郎君） ただいまの出席議員数は 8 人です。定足数に達しておりますので、休憩前に引き続き会議を開きます。

6 番 川崎和夫君。

6 番（川崎和夫君） おはようございます。

質問の前に、今回の記録的豪雨により被災された皆様にお見舞いを申し上げたいと思います。

それでは、通告してあります移動手段としての高齢者の外出支援について質問します。

村内の 65 歳以上の高齢者数と高齢化率の推移を平成 24 年から見てみると、平成 24 年 12 月では 512 人、16.77%、平成 25 年 12 月では 534 人、17.38%、平成 26 年 12 月では 550 人で高齢化率は 17.93%であります。わずかではあります、徐々に増えております。

高齢化率については、近隣の自治体に比べると 10%以上も低い状態にありますが、舟橋村の人口ピラミッドでは年齢分布のいびつな形は変わらないわけで、今後ますます高齢化が加速されていくものと思います。

高齢者の外出支援として、社会福祉協議会では昨年 4 月から福祉巡回車での支援サービスを行っております。その利用状況を月平均で見ますと、昨年度は月 4 人でしたが、ことし 8 月までの実績で見ると 8.6 人となっており、昨年実績を上回って利用者数が増えています。

行き先別では村内のいろんな場所に利用されておりますが、舟橋駅に集中しているように見受けられます。

舟橋駅までの利用については、昨年度の 28 人の 58%からことし 8 月の 5 カ月間では昨年 1 年の実績を上回る 31 人の 72%に増えております。1 人当たり月 2 回の利用限度で制限がありますが、確実に広がっているのではないかと思います。

狭い舟橋村であっても、村の端から中心部に移動するのに 20 分から 30 分程度で到達が可能なわけですが、実際にこれだけの方が移動手段として利用されておるわけです。村内の外出支援でこれだけの実績があるわけですが、潜在的には支援の要望はもっとあるのではないかと思います。

また、村外への通院や買い物時の外出支援については、要望があったとしても白タク行為となるため実施できない状況です。

舟橋村では免許自主返納制度で、免許証の返納者には生活支援事業として、5 年間の

有限ですが、月4,000円の補助を行っており、今まで以上に外出支援についての要望や要請が増えてくることが予想されます。

交通弱者として高齢者の生活の足を確保するため、3点について質問したいと思います。

1つ、通院や買い物時の移動に困っている高齢者を、一定の条件を設け、自治体とタクシー会社で協力して安い料金で運営を行うデマンド型タクシーについてであります。

県内でも幾つかの自治体でシステムとして導入されております。導入については、利用の需要がどの程度あるのか、また、採算面等の課題はありますが、検討する価値はあるのではないかと思います。

2番目に、買い物については民間の業者が巡回のバスを走らせており、社会福祉協議会のほうでも有料での買い物支援を行っております。

お年寄りの困っている問題は通院であります。公共機関の電車やバスを乗り継いでいくと体力的にも厳しく、経済的にもまた同じく厳しい状況になります。結果として一日仕事となってしまい、また、タクシーを利用すると経済的にも大きな負担となってきます。

近親者が身近にいないくて通院等に支障がある場合は、交通費を一定の条件で補助できないかお聞きします。

3点目については、村営の小型バス導入について計画があるのかどうかお聞きします。

以上3点についてよろしくお願ひします。

議長（明和善一郎君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 6番川崎議員さんの高齢者の外出支援についてのご質問にお答えをいたします。

議員ご指摘のとおり、本村の高齢化率は今年の9月現在で18.4%でありまして、他の自治体に比べ非常に低い状態にありますけれども、今後着実に高齢化が進むことが予測されております。

また、本村には、日常の買い物ができる商業施設がないこと、また専門の医療機関がないことから、村外へのニーズが高くなっていることは事実であります。

このため本村では、高齢者の村外への交通手段の支援施策といたしまして、平成22年7月から、65歳以上の方が運転免許証を自主返納した場合に月額4,000円を5年間支給する高齢者運転免許自主返納者生活支援事業を実施しております。

この制度の利用者は、今まで延べ人数で29人、現在は25の方が利用されております。今後、増加するものと推察しております。

また、平成24年度実施いたしました60歳以上の方を対象にした舟橋村買い物環境等に関する調査では、本村には徒歩圏内に皆様が求める商業施設がないことや、公共交通機関も私鉄富山地方鉄道を利用するしかない現状から、買い物への移動手段には車が必要不可欠であり、将来的に車の運転ができなくなった場合の不安があると回答された方や、買い物以外でも、雪かき、大型ごみの処分、家屋の修理、庭の手入れなど、生活環境全体に対する支援を求める要請が多くありまして、平成26年4月から、その支援母体となっております舟橋村社会福祉協議会では、ホームヘルパーによる生活上の困り事を支援するファミリーサービスを拡充いたしまして、日常的な買い物代行を行う生活支援サービスや運転ボランティアによる外出支援サービスを実施しております。

しかし、外出支援サービスの利用範囲は道路運送法の諸規定で村内に限定されておりますので、日常の買い物や医療機関などへの村外ニーズが高い本村では、100%満足できるサービスを実施しているとは言えないと思っております。

ただいま議員から、デマンド型タクシー、交通費の支援や小型バス導入についてのご提案もいただきましたが、本村は行政区域内に多くの商業施設を有する自治体と異なり、高齢者の村外ニーズが高いことに加えニーズも多様化していることでもありますので、デマンド型タクシー等の導入に当たりましては十分な調査研究が必要であると考えております。

しかし、高齢者の外出支援事業は本村にとりましても重要なサービス施策であると考えておりますので、今後、社会福祉協議会と連携を図りながら、効率性並びに利便性の高いサービスの提供につきまして検討を進めてまいりますので、議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。答弁とさせていただきます。